

<減税額のモデルケース>

○給与所得者（夫婦・子2人の世帯）

収入額	減税前の市民税額	減税後の市民税額	減 税 額
250 万円	0 円	0 円	0 円
270 万円	3,500 円	3,300 円	200 円
300 万円	16,700 円	15,400 円	1,300 円
500 万円	91,100 円	86,100 円	5,000 円
700 万円	178,400 円	169,300 円	9,100 円
1,000 万円	320,600 円	304,400 円	16,200 円

○給与所得者（単身世帯）

収入額	減税前の市民税額	減税後の市民税額	減 税 額
100 万円	0 円	0 円	0 円
115 万円	3,500 円	3,300 円	200 円
300 万円	70,400 円	66,700 円	3,700 円
500 万円	144,800 円	137,400 円	7,400 円
700 万円	225,200 円	213,800 円	11,400 円
1,000 万円	367,400 円	348,900 円	18,500 円

○年金所得者（65歳以上の夫婦世帯）

収入額	減税前の市民税額	減税後の市民税額	減 税 額
200 万円	0 円	0 円	0 円
220 万円	3,500 円	3,300 円	200 円
250 万円	31,400 円	29,600 円	1,800 円
300 万円	59,300 円	56,100 円	3,200 円
350 万円	84,300 円	79,900 円	4,400 円

○年金所得者（65歳以上の単身世帯）

収入額	減税前の市民税額	減税後の市民税額	減 税 額
150 万円	0 円	0 円	0 円
157 万円	3,500 円	3,300 円	200 円
200 万円	25,800 円	24,400 円	1,400 円
250 万円	53,700 円	50,900 円	2,800 円
300 万円	81,600 円	77,400 円	4,200 円
350 万円	106,700 円	101,300 円	5,400 円

注1 夫婦のうち1人が、もう1人に扶養されているもの（控除対象配偶者）として試算

注2 子2人のうち1人が19歳以上23歳未満、1人が16歳未満として試算

注3 一定の社会保険料が控除されるものとして試算

<市民税5%減税の概要について>

○減税の方式

区 分		減 税 前	減 税 後
個 人 市民税	均等割	3,500円	3,300円
	所得割	6%	5.7%
法 人 市民税	均等割	5万円～300万円	4万7,500円～285万円
	法人税割	12.1% 資本金1億円以下かつ法人税額 2,500万円以下の法人は、 9.7%	11.495% 資本金1億円以下かつ法人税額 2,500万円以下の法人は、 9.215%

○減税の規模

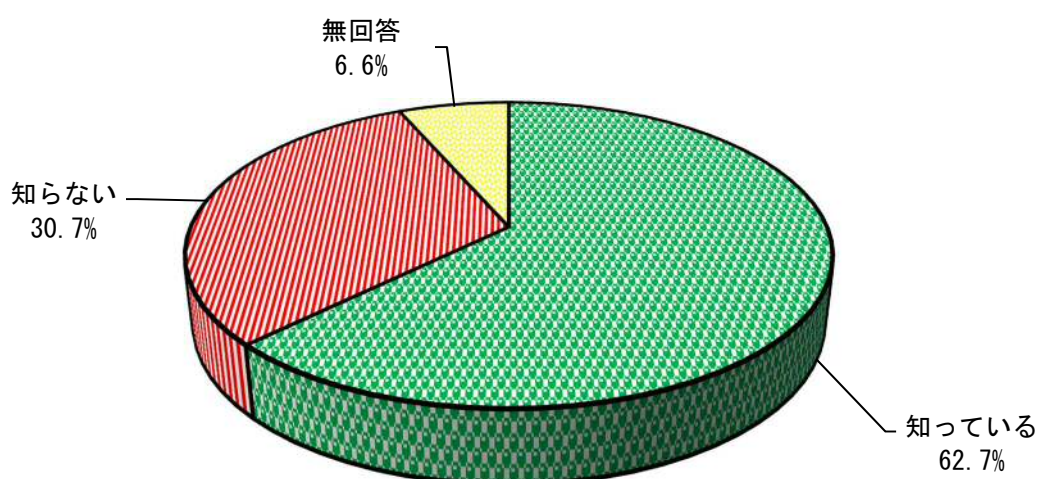
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
個人市民税	69億円	79億円	79億円	82億円	83億円	85億円
法人市民税	14億円	32億円	37億円	35億円	34億円	32億円
合 計	83億円	111億円	116億円	117億円	117億円	117億円

(注) 平成27年度までは決算額、平成28年度及び平成29年度は予算額となります。

問31 名古屋市が市民税について5%減税を実施していることを知っていますか。

(○は1つだけ)

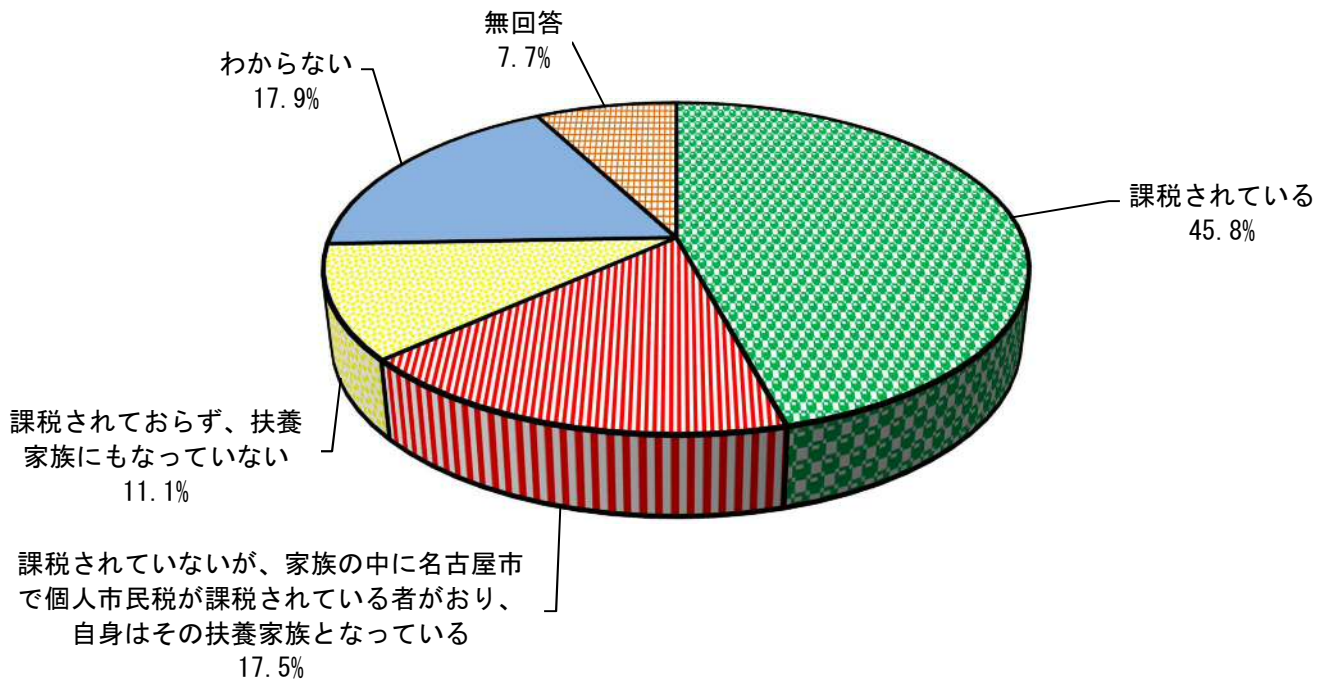
N=867



問 32 あなたは、名古屋市で平成 29 年度分の個人市民税が課税されていますか。

(○は 1 つだけ)

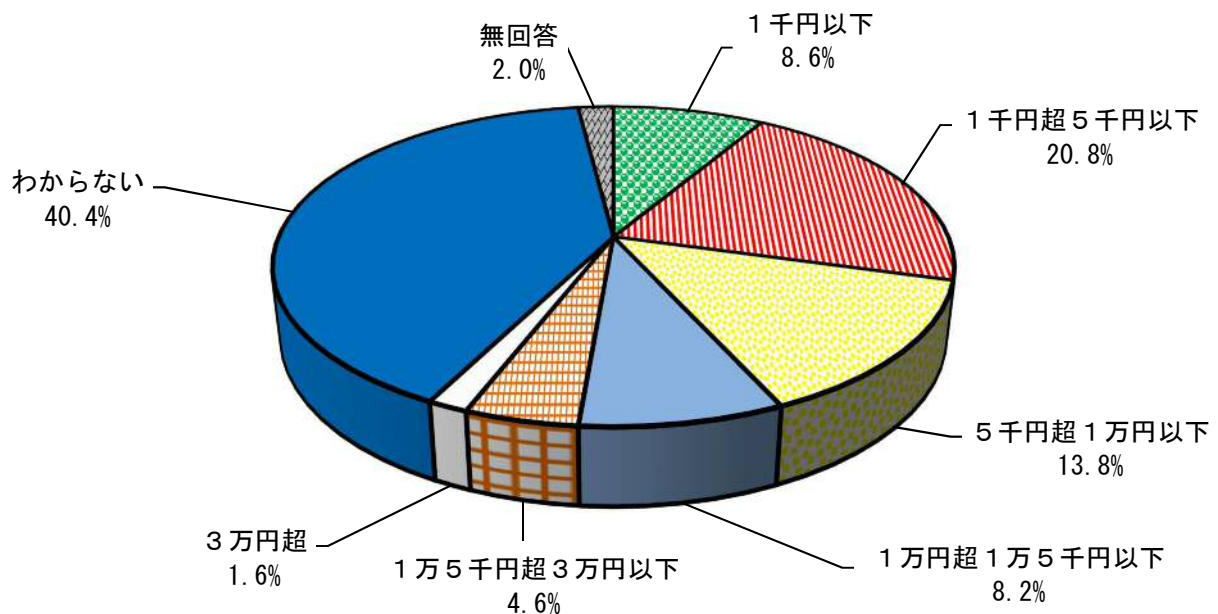
N=867



《次の問33・問34は、問32で1～2と答えた方（課税されている方または扶養家族になっている方）におたずねします。》

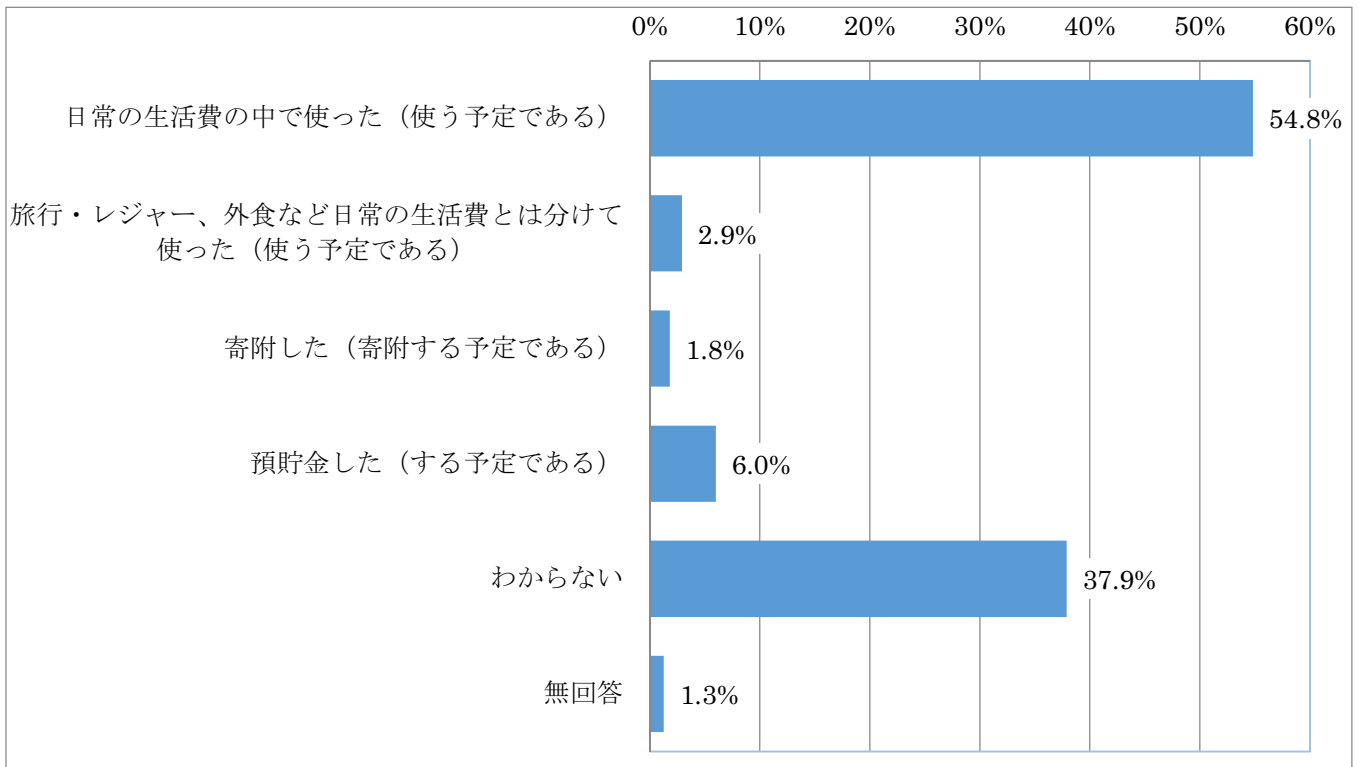
問 33 あなたの（課税されている方の）減税額はいくらでしたか。（○は 1 つだけ）

N=549



問 34 あなたは、市民税 5 %減税による減税額を、どのように使いましたか。(使う予定がありますか。)(○はいくつでも)

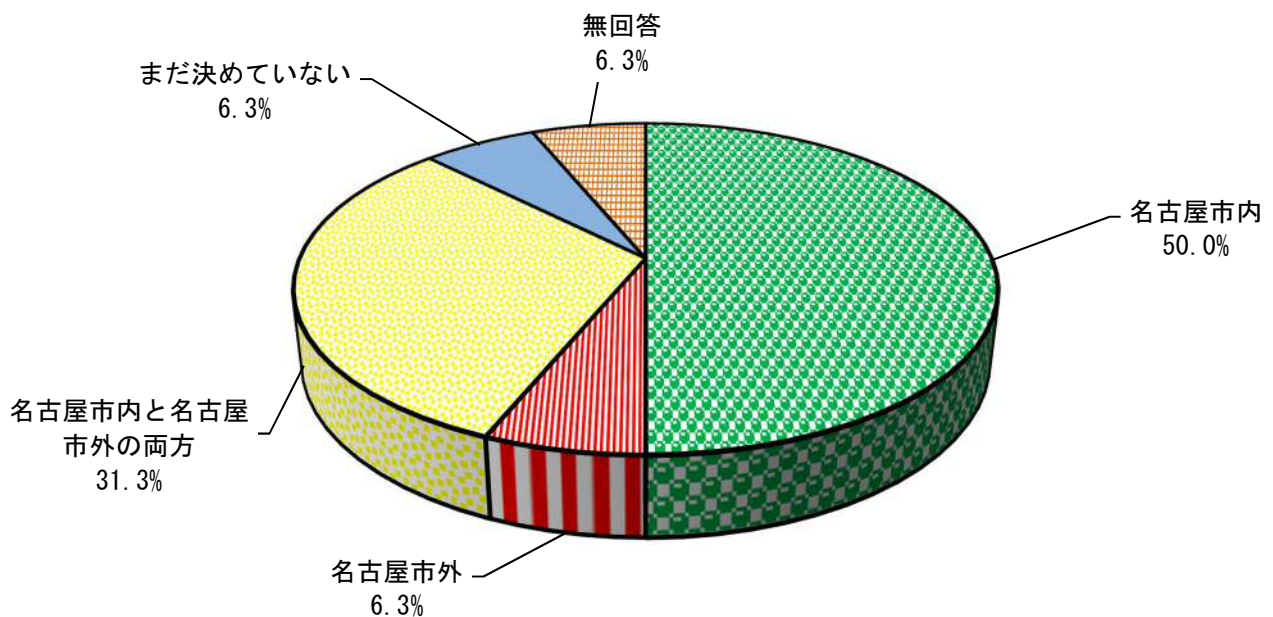
N = 549



《問 34 で 2 と答えた方 (旅行・レジャー、外食などが使用目的の方) におたずねします。》

問 35 使った (使う) 場所はどこですか。(○は1つだけ)

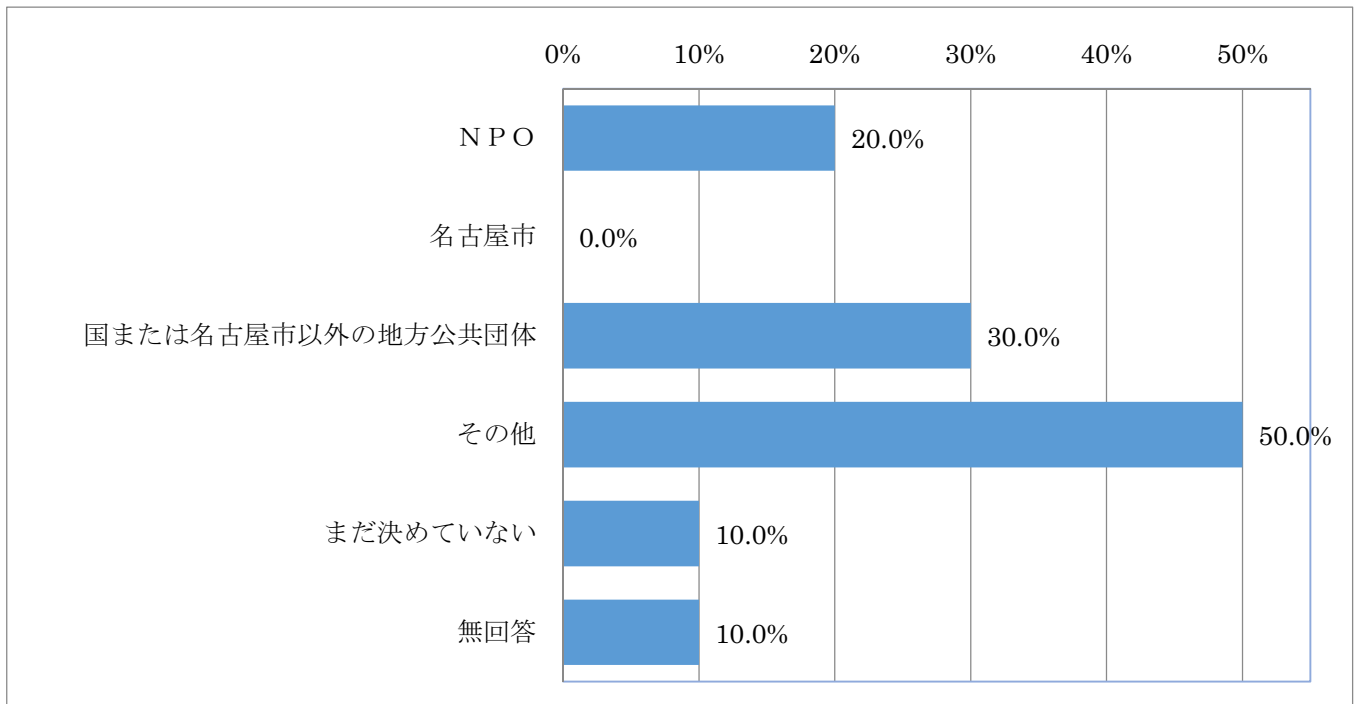
N = 16



《問34で3と答えた方（寄附が使用目的の方）におたずねします。》

問 36 寄附先はどこですか。（〇はいくつでも）

N=10



《すべての方におたずねします。》

問 37 市民税5%減税について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- 減税されることは助かります。集めた市民税をむだなくいいお金の使い方をしてほしいと思います。
- 健康保険料、介護保険料が上がっているので市民税5%減税は有難い。
- 自分の5%は少額ではありますが給与所得者にとって少しでも税が戻ってくるのはとてもありがたいことです。お金持ちの減税に反対される意見もありますがお金持ちは元々納める税率も高いので5%減税してもやむを得ないと思います。市の財政も大変とは思いますが使いみちを工夫してがんばって頂けたらと思います。
- 所得が低い人の5%はほとんど意味がないように思われます。
- 減税は金持ちにメリットがあるので、続けるべきではない。その分、市民サービスの施策を増やすべきだと思う。
- 減税することで、現在の負担は減るが、これから高齢化で予算の増大が見込まれているのに、このようなことをしている場合ではないと思う。これらの債務であったりを減らす為にもむしろ、増税すべきではないか。確かに、増税は反対されるし、経済状況が苦しくなるかもしれないが、将来世代の負担を考えて欲しい。
- 日常生活にて実感することが少ないので、評価が難しい。
- 減税効果がわからない。減税分の市政への影響がわからない。
- 市の財政に問題がないなら継続すべき。

ほか